

平成 1 9 年 度

高 校 改 革 ア ン ケ ー ト

調 査 結 果 概 要

山梨県教育庁新しい学校づくり推進室

参考 (1) 比率(%)は、各項目ごとに小数点第2位を四捨五入してあるので、合計が100%にならない場合もある。

(2) 各設問を調査対象者別、地域別、学科別に集計した。

調査対象者別...その設問に回答した調査対象者ごとに集計

地域別...中学生、中学保護者、中学教員が在籍する中学校の所在地域ごとに集計

学科別...高校生、高校保護者、高校教員が在籍する高校の学科ごとに集計

平成19年度高校改革アンケート調査の結果報告

調査の概要

1 調査の目的

県下の中学生、高校生、保護者及び中学校、高等学校の教員の高校改革等に対する考えや意見を把握し、今後の高校改革推進のための資料を得ることを目的とする。

2 調査内容と項目数

項 目	調 査 内 容	質問項目
中学卒業後の進路希望等について	<ul style="list-style-type: none"> ・ 中学卒業後の進路希望 (1) ・ 進学した高校の満足度 (2) ・ 現行の高校制度の満足度 (3) 	3
高校制度(高校改革)について	<ul style="list-style-type: none"> ・ 高校進学を希望する(した)者の希望学科 (問1) ・ 高校選択の理由 (問2) ・ 新入試制度(制度全体) (問3) ・ 新入試制度(教育方針等) (問4) ・ 新入試制度(後期募集) (問5) ・ 総合学科 (問6) ・ 総合学科の系列 (問7) ・ 全日制単位制普通科高校 (問8) ・ 専門教育学科(学科の種類) (問9【1】) ・ 専門教育学科(学科数) (問9【2】) ・ 専門高校 (問10) ・ 定時制高校 (問11) ・ 中高一貫教育校 (問12) 	13
計		16

3 調査対象

6,752人(回収数:6,446人)

(1) 中学2年生...	無作為に抽出した中学校(30校)の1学級の生徒全員	1,055人 (1,020人)
(2) 中学3年生...	無作為に抽出した中学校(30校)の1学級の生徒全員	1,059人 (1,020人)
(3) 高校1年生...	無作為に抽出した高校(23校)の1学級の生徒全員	860人 (853人)
(4) 保護者 ...	(1)~(3)の生徒の保護者	2,974人 (2,753人)
(5) 教員 ...	(1)~(2)の中学の全学年クラス担任、(3)の高校の全学年クラス担任	804人 (800人)

4 調査方法

各学校を通じて実施

5 調査時期

平成19年9月~10月実施

6 回収結果

	配付数(人)	回収数(人)	回収率
中2生徒	1,055	1,020	96.7%
中3生徒	1,059	1,020	96.3%
中2保護者	1,055	951	90.1%
中3保護者	1,059	976	92.2%
中学校教員	369	367	99.5%
高1生徒	860	853	99.2%
高1保護者	860	826	96.0%
高校教員	435	433	99.5%
合計	6,752	6,446	95.5%

- ・ (1) 中学卒業後の進路希望 (中2・3生徒、その保護者が回答)
- ・ (2) 進学した高校の満足度 (高1生徒、その保護者が回答)
- ・ (3) 現行の高校制度の満足度 (中2・3・高1生徒の保護者、教員が回答)
- ・ (問3)～(問5)新入試制度 (中2・3生徒、その保護者が回答)
- ・ 上記以外 (全ての調査対象者が回答)

参考 (1) 比率(%)は、各項目ごとに小数点第2位を四捨五入してあるので、合計が100%にならない場合もある。

(2) 各設問を全体の傾向、調査対象者別、地域別、学科別に分析した。

全体の傾向...その設問に回答した全対象者を分析

調査対象者別...その設問に回答した調査対象者ごとに分析

地域別...中学生、中学保護者、中学教員が在籍する中学校の所在地域ごとに分析

学科別...高校生、高校保護者、高校教員が在籍する高校の学科ごとに分析

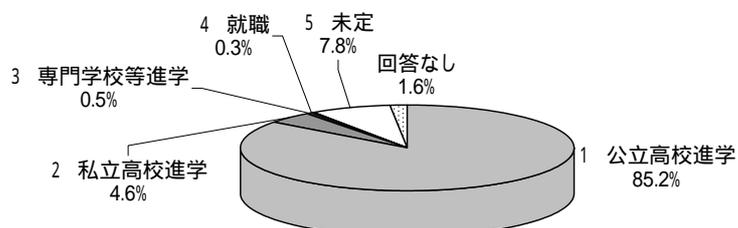
調査結果

(1) 中学生とその保護者の方にお聞きます。中学卒業後の進路は決めていますか。
(つぎの中から1つ選んでください。)

- 1 公立高校進学 2 私立高校進学 3 高校以外の専門学校等進学
4 就職 5 未定

選 択 肢	中2生徒		中3生徒		中学生計		中2保護者		中3保護者		保護者計		合 計	
	人数	比率												
1 公立高校進学	763	74.8%	901	88.3%	1,664	81.6%	848	89.2%	868	88.9%	1,716	89.1%	3,380	85.2%
2 私立高校進学	39	3.8%	72	7.1%	111	5.4%	14	1.5%	58	5.9%	72	3.7%	183	4.6%
3 専門学校等進学	8	0.8%	6	0.6%	14	0.7%	3	0.3%	4	0.4%	7	0.4%	21	0.5%
4 就職	4	0.4%	2	0.2%	6	0.3%	2	0.2%	3	0.3%	5	0.3%	11	0.3%
5 未定	160	15.7%	30	2.9%	190	9.3%	81	8.5%	39	4.0%	120	6.2%	310	7.8%
回答なし	46	4.5%	9	0.9%	55	2.7%	3	0.3%	4	0.4%	7	0.4%	62	1.6%
計	1,020		1,020		2,040		951		976		1,927		3,967	

中学卒業後の進路



【今回の調査結果】

中2・3生徒とその保護者に、中学卒業後の進路について尋ねた。

全体の傾向

- ・ 「公立高校進学」と回答した比率が最も高く85.2%、以下、「私立高校進学」4.6%、「高校以外の専門学校等進学」0.5%、「就職」0.3%の順である。

調査対象者別

- ・ 中3生徒についてみると、同時期に行われた『進路希望調査』の結果とほぼ同じである。

	公立高校進学	私立高校進学	専門学校等進学	就職	未定・回答なし	計
高校改革アンケート(中3生徒)	88.3%(901人)	7.1%(72人)	0.6%(6人)	0.2%(2人)	3.8%(39人)	1,020人
進路希望調査(9/20)	89.0%(8,063人)	9.0%(815人)	0.7%(60人)	0.4%(40人)	0.9%(77人)	9,055人

- ・ 中2生徒についてみると、「未定」「回答なし」の比率が高くなっている。

	公立高校進学	私立高校進学	専門学校等進学	就職	未定・回答なし	計
高校改革アンケート(中2生徒)	74.8%(763人)	3.8%(39人)	0.8%(8人)	0.4%(4人)	20.2%(206人)	1,020人

地域別(資料編p.1参照)

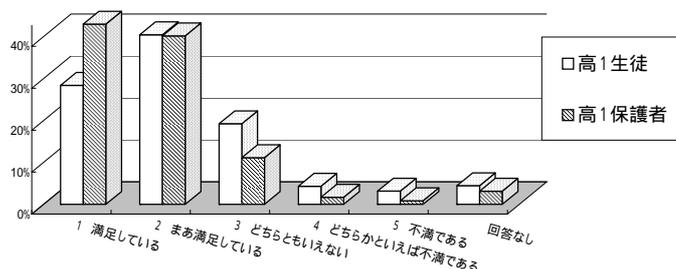
- ・ 中3生徒についてみると、「公立高校進学」と回答した比率が最も高い地域は南都留97.8%であり、以下、峡東91.0%、峡中88.6%、峡北84.0%、峡南81.3%、北都留81.0%の順である。

(2) 高校生とその保護者の方にお聞きます。進学した高校の学科(コース)について、どの程度満足していますか。(つぎの中から1つ選んでください。)

- 1 満足している 2 まあ満足している 3 どちらともいえない
4 どちらかといえば不満である 5 不満である

選 択 肢	高1生徒		高1保護者		合 計	
	人数	比率	人数	比率	人数	比率
1 満足している	242	28.4%	355	43.0%	597	35.6%
2 まあ満足している	345	40.4%	332	40.2%	677	40.3%
3 どちらともいえない	164	19.2%	92	11.1%	256	15.2%
4 どちらかといえば不満である	37	4.3%	14	1.7%	51	3.0%
5 不満である	27	3.2%	7	0.8%	34	2.0%
回答なし	38	4.5%	26	3.1%	64	3.8%
計	853		826		1,679	

入学した高校の満足度



【今回の調査結果】

高1生徒とその保護者に、在学している高校に対する満足度を尋ねた。

全体の傾向

- ・ 「満足している」「まあ満足している」と回答した比率は75.9%、「不満である」「どちらかといえば不満である」5.0%、「どちらともいえない」15.2%である。

調査対象者別

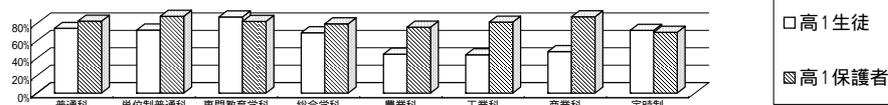
- ・ 「満足している」「まあ満足している」と回答した比率は高1生徒68.8%、高1保護者83.2%、「不満である」「どちらかといえば不満である」と回答した比率は高1生徒7.5%、高1保護者2.5%であり、生徒より保護者の方が満足度が高い。

学科別(資料編 p.2参照)

- ・ 学科別でみると、「満足している」「まあ満足している」と回答した比率は、専門教育学科以外の学科において、生徒より保護者の方が高くなっている。
- ・ 「満足している」「まあ満足している」と回答した比率を学科別に表すと、次のとおりである。

	普通科	単位制普通科	専門教育学科	総合学科	農業科	工業科	商業科	定時制
高1生徒	74.4%	72.5%	87.5%	69.3%	44.8%	44.1%	47.7%	72.2%
高1保護者	82.7%	88.3%	82.5%	79.7%	75.8%	81.6%	87.7%	70.0%

入学した高校の満足度(学科別)

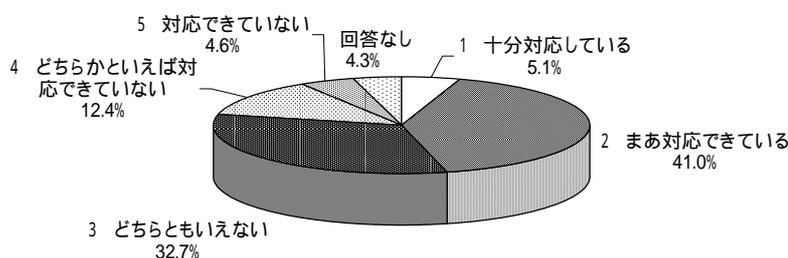


(3) すべての保護者と教員の方にお聞きします。現在の山梨県の高校の種類や数などは、生徒の多様な進路選択ニーズにどの程度対応できていると考えますか。
(つぎの中から1つを選んでください。)

- 1 十分対応している 2 まあ対応できている 3 どちらともいえない
4 どちらかといえば対応できていない 5 対応できていない

選 択 肢	中2保護者		中3保護者		高1保護者		中学教員		高校教員		合 計	
	人数	比率	人数	比率	人数	比率	人数	比率	人数	比率	人数	比率
1 十分対応している	23	2.4%	44	4.5%	55	6.7%	15	4.1%	43	9.9%	180	5.1%
2 まあ対応できている	322	33.9%	341	34.9%	363	43.9%	198	54.0%	232	53.6%	1,456	41.0%
3 どちらともいえない	414	43.5%	341	34.9%	239	28.9%	85	23.2%	82	18.9%	1,161	32.7%
4 どちらかといえば対応できていない	123	12.9%	159	16.3%	99	12.0%	31	8.4%	28	6.5%	440	12.4%
5 対応できていない	49	5.2%	68	7.0%	30	3.6%	2	0.5%	15	3.5%	164	4.6%
回答なし	20	2.1%	23	2.4%	40	4.8%	36	9.8%	33	7.6%	152	4.3%
計	951		976		826		367		433		3,553	

現行の高校制度への満足度



【今回の調査結果】

中2・3・高1生徒の保護者及び教員に、現行の高校制度の満足度について尋ねた。

全体の傾向

・ 「十分対応している」「まあ対応できている」と回答した比率は46.1%、「対応できていない」「どちらかといえば対応できていない」17.0%、「どちらともいえない」32.7%である。

調査対象者別

・ 「十分対応している」「まあ対応できている」と回答した比率が最も高いのは高校教員の63.5%であり、以下、中学教員58.1%、高1保護者50.6%、中3保護者39.4%、中2保護者36.3%の順である。

地域別(資料編 p.3参照)

・ 中学生保護者についてみると、「十分対応している」「まあ対応できている」と回答した比率が最も高い地域は峡南43.0%であり、以下、峡北40.8%、南都留39.7%、峡東39.0%、峡中36.3%、北都留32.2%の順である。

・ 同様に中学校教員についてみると、峡東63.3%、北都留60.0%、峡北58.0%、峡中57.0%、南都留55.2%、峡南52.4%の順である。

学科別(資料編 p.3参照)

・ 高1保護者についてみると、「十分対応している」「まあ対応できている」と回答した比率が最も高い学科は商業科58.4%であり、以下、単位制普通科55.0%、農業科51.7%、専門教育学科50.0%、工業科50.0%、定時制50.0%、普通科49.3%、総合学科43.8%の順である。

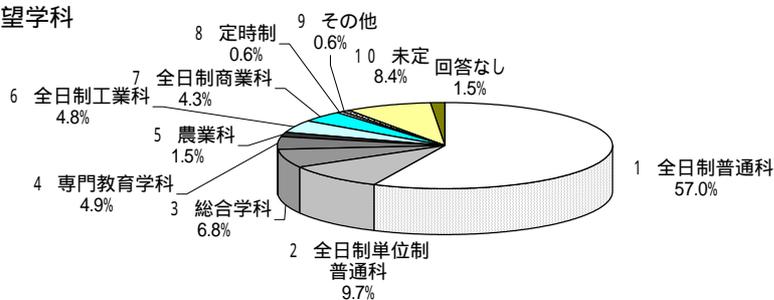
・ 同様に高校教員についてみると、農業科71.4%、普通科66.6%、定時制65.2%、総合学科63.7%、商業科61.6%、単位制普通科59.1%、工業科46.7%の順である。

問1 中学生、高校生とその保護者の方にお聞きします。次のどの学科に進学を希望していますか。(希望しましたか。)(つぎの中から1つ選んでください。)

- 1 全日制普通科(コースを含む) 2 全日制単位制普通科 3 総合学科
 4 専門教育学科(理数科・英語科等) 5 農業科 6 全日制工業科
 7 全日制商業科 8 定時制 9 その他() 10 未定

選 択 肢	中2生徒		中3生徒		中2保護者		中3保護者		高1生徒		高1保護者		合 計	
	人数	比率	人数	比率	人数	比率	人数	比率	人数	比率	人数	比率	人数	比率
1 全日制普通科	504	49.4%	580	56.9%	623	65.5%	615	63.0%	423	49.6%	472	57.1%	3,217	57.0%
2 全日制単位制普通科	57	5.6%	129	12.6%	54	5.7%	106	10.9%	104	12.2%	96	11.6%	546	9.7%
3 総合学科	54	5.3%	83	8.1%	55	5.8%	66	6.8%	61	7.2%	67	8.1%	386	6.8%
4 専門教育学科	65	6.4%	56	5.5%	36	3.8%	35	3.6%	48	5.6%	39	4.7%	279	4.9%
5 農業科	7	0.7%	16	1.6%	4	0.4%	8	0.8%	28	3.3%	21	2.5%	84	1.5%
6 全日制工業科	40	3.9%	50	4.9%	31	3.3%	40	4.1%	58	6.8%	50	6.1%	269	4.8%
7 全日制商業科	26	2.5%	54	5.3%	17	1.8%	58	5.9%	46	5.4%	41	5.0%	242	4.3%
8 定時制	8	0.8%	3	0.3%	3	0.3%	4	0.4%	10	1.2%	5	0.6%	33	0.6%
9 その他	7	0.7%	9	0.9%	2	0.2%	6	0.6%	7	0.8%	4	0.5%	35	0.6%
10 未定	236	23.1%	28	2.7%	112	11.8%	23	2.4%	55	6.4%	19	2.3%	473	8.4%
回答なし	16	1.6%	12	1.2%	14	1.5%	15	1.5%	13	1.5%	12	1.5%	82	1.5%
計	1,020		1,020		951		976		853		826		5,646	

進学希望学科



【今回の調査結果】

中2・3・高1生徒とその保護者に、どの学科に進学を希望する(希望した)か尋ねた。

全体の傾向

・「全日制普通科」と回答した比率は57.0%であり、「全日制単位制普通科」9.7%、「専門教育学科」4.9%と合わせると、全体の71.6%が普通科系の学科を希望している。

調査対象者別

・「全日制普通科」と回答した比率は中2生徒49.4%、中3生徒56.9%、中2保護者65.5%、中3保護者63.0%、高1生徒49.6%、高1保護者57.1%であり、生徒より保護者の比率が高くなっている。

地域別(資料編 p.4参照)

・中学生についてみると、「全日制普通科」と回答した比率が最も高い地域は南都留61.4%、次いで峡中55.1%である。また、「全日制単位制普通科」と回答した比率が最も高い地域は北都留23.0%、次いで峡東15.5%である。

学科別(資料編 p.5参照)

・実際に進学した学科が希望した学科であった場合の比率を見ると、平成19年度入試においては高1生徒、高1保護者の希望した学科へ8割以上が進学している。

希望した学科と在籍している学科の一致する割合

	普通科	単位制普通科	専門教育学科	総合学科	農業科	工業科	商業科	定時制	全体
高1生徒	85.6%	75.0%	85.0%	73.3%	96.6%	77.9%	70.8%	50.0%	80.9%
高1保護者	92.2%	74.2%	70.0%	84.4%	72.4%	78.3%	60.0%	50.0%	83.2%

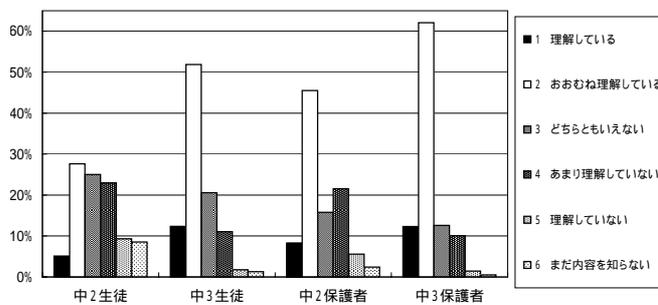
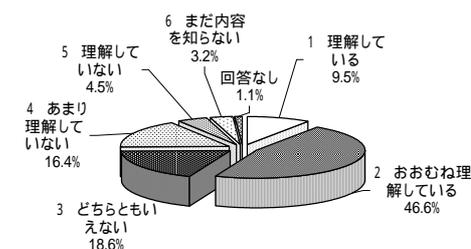
【新入試制度】(制度全体)

問3 平成19年度入試から入学者選抜制度が改善されましたが、入試制度について理解していますか。
(つぎの中から1つを選んでください。)

- 1 理解している
- 2 おおむね理解している
- 3 どちらともいえない
- 4 あまり理解していない
- 5 理解していない
- 6 まだ内容を知らない

選 択 肢	中2生徒		中3生徒		中学生計		中2保護者		中3保護者		保護者計		合 計	
	人数	比率												
1 理解している	52	5.1%	126	12.4%	178	8.7%	79	8.3%	120	12.3%	199	10.3%	377	9.5%
2 おおむね理解している	282	27.6%	529	51.9%	811	39.8%	433	45.5%	606	62.1%	1,039	53.9%	1,850	46.6%
3 どちらともいえない	255	25.0%	210	20.6%	465	22.8%	150	15.8%	123	12.6%	273	14.2%	738	18.6%
4 あまり理解していない	234	22.9%	113	11.1%	347	17.0%	205	21.6%	98	10.0%	303	15.7%	650	16.4%
5 理解していない	95	9.3%	18	1.8%	113	5.5%	53	5.6%	14	1.4%	67	3.5%	180	4.5%
6 まだ内容を知らない	87	8.5%	13	1.3%	100	4.9%	23	2.4%	5	0.5%	28	1.5%	128	3.2%
回答なし	15	1.5%	11	1.1%	26	1.3%	8	0.8%	10	1.0%	18	0.9%	44	1.1%
計	1,020		1,020		2,040		951		976		1,927		3,967	

新入試制度(制度全体)



(調査対象者別)

【今回の調査結果】

中2・3生徒とその保護者に、新入試制度の内容を理解しているかを尋ねた。

全体の傾向

・「理解している」「おおむね理解している」と回答した比率は56.1%、「あまり理解していない」「理解していない」20.9%、「どちらともいえない」18.6%である。

調査対象者別

・中3生徒の64.3%は新入試制度の内容を、「理解している」「おおむね理解している」と回答しているが、中2生徒についてみると、「理解している」「おおむね理解している」32.7%、「あまり理解していない」「理解していない」32.2%、「どちらともいえない」25.0%となっている。

・中3保護者の74.4%、中2保護者の53.8%が新入試制度の内容を、「理解している」「おおむね理解している」と回答しているが、中2保護者の27.2%が「あまり理解していない」「理解していない」、15.8%が「どちらともいえない」と回答している。

地域別(資料編 p.8参照)

・北都留の中学生、中学生保護者においては、「あまり理解していない」「理解していない」と回答した比率が高い傾向にある。

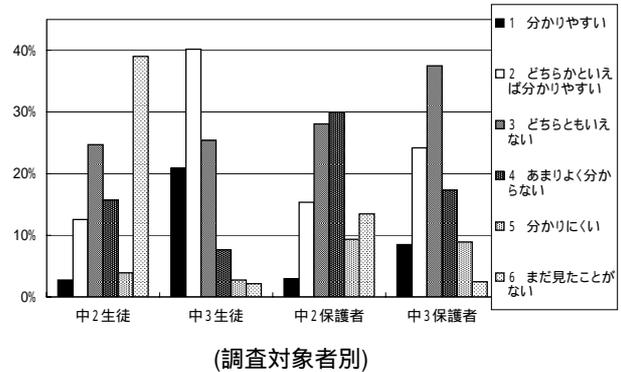
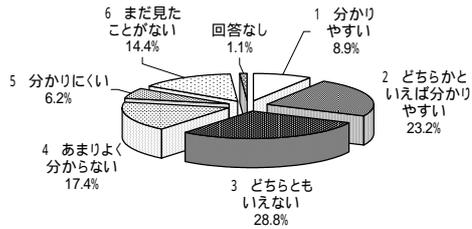
【新入試制度】(教育方針等)

問4 各高校が示した「教育方針、志願してほしい生徒像、前期募集選抜方法」についてどう思いますか。(つぎの中から1つ選んでください。)

- | | |
|-------------|------------------|
| 1 分かりやすい | 2 どちらかといえば分かりやすい |
| 3 どちらともいえない | 4 あまりよく分からない |
| 5 分かりにくい | 6 まだ見たことがない |

選 択 肢	中2生徒		中3生徒		中学生計		中2保護者		中3保護者		保護者計		合 計	
	人数	比率												
1 分かりやすい	28	2.7%	213	20.9%	241	11.8%	28	2.9%	83	8.5%	111	5.8%	352	8.9%
2 どちらかといえば分かりやすい	128	12.5%	410	40.2%	538	26.4%	146	15.4%	236	24.2%	382	19.8%	920	23.2%
3 どちらともいえない	252	24.7%	259	25.4%	511	25.0%	267	28.1%	366	37.5%	633	32.8%	1,144	28.8%
4 あまりよく分からない	160	15.7%	78	7.6%	238	11.7%	285	30.0%	169	17.3%	454	23.6%	692	17.4%
5 分かりにくい	40	3.9%	28	2.7%	68	3.3%	89	9.4%	87	8.9%	176	9.1%	244	6.2%
6 まだ見たことがない	398	39.0%	22	2.2%	420	20.6%	128	13.5%	24	2.5%	152	7.9%	572	14.4%
回答なし	14	1.4%	10	1.0%	24	1.2%	8	0.8%	11	1.1%	19	1.0%	43	1.1%
計	1,020		1,020		2,040		951		976		1,927		3,967	

新入試制度(教育方針等)



【今回の調査結果】

中2・3生徒とその保護者に、各高校が示した教育方針等の内容を理解しているかを尋ねた。

全体の傾向

・「分かりやすい」「どちらかといえば分かりやすい」と回答した比率は32.1%、「あまりよく分からない」「分かりにくい」23.6%、「どちらともいえない」28.8%である。

調査対象者別

・中3生徒についてみると、「分かりやすい」「どちらかといえば分かりやすい」と回答した比率は61.1%、「あまりよく分からない」「わかりにくい」10.3%、肯定的回答の比率が高い傾向にある。

地域別(資料編 p.9参照)

・中学生についてみると「分かりやすい」「どちらかといえば分かりやすい」と回答した比率が比較的高い地域は、峡東地域42.4%、峡中地域40.6%である。

【新入試制度】(後期募集)

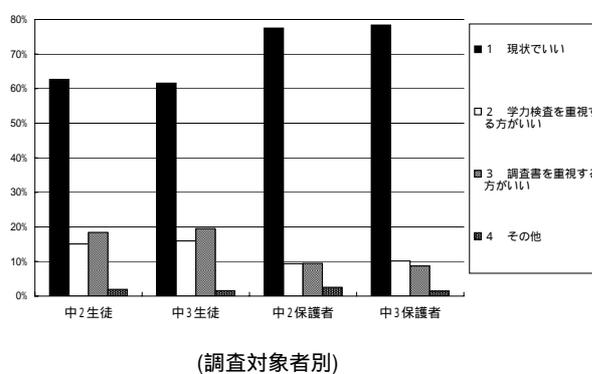
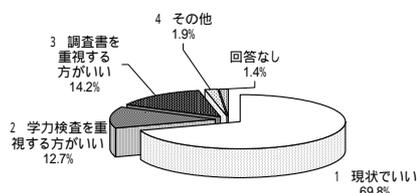
問5 後期募集における学力検査と調査書の扱いについてどう考えますか。

(つぎの中から1つ選んでください。)

- 1 現状でいい
- 2 学力検査を重視する方がいい
- 3 調査書を重視する方がいい
- 4 その他

選 択 肢	中2生徒		中3生徒		中学生計		中2保護者		中3保護者		保護者計		合 計	
	人数	比率												
1 現状でいい	639	62.6%	628	61.6%	1,267	62.1%	737	77.5%	765	78.4%	1,502	77.9%	2,769	69.8%
2 学力検査を重視する方がいい	154	15.1%	163	16.0%	317	15.5%	89	9.4%	99	10.1%	188	9.8%	505	12.7%
3 調査書を重視する方がいい	188	18.4%	199	19.5%	387	19.0%	90	9.5%	85	8.7%	175	9.1%	562	14.2%
4 その他	20	2.0%	16	1.6%	36	1.8%	24	2.5%	14	1.4%	38	2.0%	74	1.9%
回答なし	19	1.9%	14	1.4%	33	1.6%	11	1.2%	13	1.3%	24	1.2%	57	1.4%
計	1,020		1,020		2,040		951		976		1,927		3,967	

新入試制度(後期募集)



【今回の調査結果】

中2・3生徒とその保護者に、後期募集における学力検査と調査書の扱いについて尋ねた。

全体の傾向

- ・ 「現状でいい」と回答した比率は69.8%、「調査書を重視する方がいい」14.2%、「学力検査を重視する方がいい」12.7%である。

調査対象者別

- ・ 中学生についてみると、「調査書を重視する方がいい」と回答した比率が、「学力を重視する方がいい」と回答した比率を上回っている。
- ・ 中学生よりも保護者の方が「現状でいい」と回答した比率が高い。

地域別(資料編 p.10参照)

- ・ 峡北、南都留の中学生においては、「現状のままでいい」と回答した比率が他の地域よりも高い。

【総合学科】

問6 本県には、普通科目(国語、数学、英語など)から専門科目(農業、工業、情報ビジネス、福祉など)まで、幅広い科目の中から自ら選択して学ぶことのできる「総合学科高校」として甲府城西高校、北杜高校及び富士北稜高校があります。

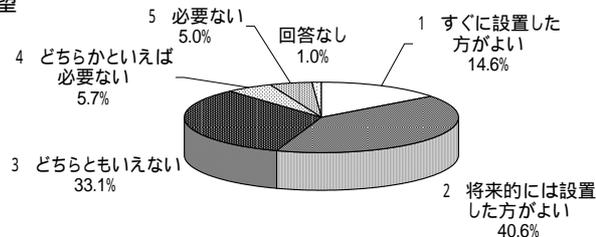
今後も、総合学科高校は、県内に順次設置していくこととしています。現在、未設置となっている峡東・峡西南ブロックに総合学科高校を設置することについて、どう考えますか。

(つぎの中から1つ選んでください。)

- 1 すぐに設置した方がよい 2 将来的には設置した方がよい 3 どちらともいえない
4 どちらかといえば必要ない 5 必要ない

選 択 肢	中2生徒		中3生徒		中2保護者		中3保護者		中学教員		高1生徒		高1保護者		高校教員		合 計	
	人数	比率	人数	比率	人数	比率	人数	比率	人数	比率	人数	比率	人数	比率	人数	比率	人数	比率
1 すぐに設置した方がよい	168	16.5%	124	12.2%	213	22.4%	187	19.2%	33	9.0%	72	8.4%	117	14.2%	28	6.5%	942	14.6%
2 将来的には設置した方がよい	376	36.9%	406	39.8%	437	46.0%	432	44.3%	169	46.0%	307	36.0%	374	45.3%	118	27.3%	2,619	40.6%
3 どちらともいえない	371	36.4%	409	40.1%	236	24.8%	279	28.6%	103	28.1%	365	42.8%	259	31.4%	109	25.2%	2,131	33.1%
4 どちらかといえば必要ない	46	4.5%	30	2.9%	37	3.9%	28	2.9%	43	11.7%	50	5.9%	37	4.5%	94	21.7%	365	5.7%
5 必要ない	44	4.3%	41	4.0%	18	1.9%	32	3.3%	19	5.2%	56	6.6%	33	4.0%	79	18.2%	322	5.0%
回答なし	15	1.5%	10	1.0%	10	1.1%	18	1.8%	0	0.0%	3	0.4%	6	0.7%	5	1.2%	67	1.0%
計	1,020		1,020		951		976		367		853		826		433		6,446	

総合学科の設置要望



【今回の調査結果】

今後、未設置地域に順次設置していくこととしている総合学科高校の必要性について尋ねた。

全体の傾向

・ 「すぐに設置した方がよい」「将来的には設置した方がよい」と回答した比率は55.2%、「必要ない」「どちらかといえば必要ない」10.7%、「どちらともいえない」33.1%である。

調査対象者別

・ 「すぐに設置した方がよい」「将来的には設置した方がよい」と回答した比率は、中2生徒53.4%、中3生徒52.0%、中2保護者68.4%、中3保護者63.5%であり、生徒より保護者の方が高くなっている。

地域別(資料編p11～12参照)

・ 中学生についてみると、「すぐに設置した方がよい」「将来的には設置した方がよい」と回答した比率が最も高い地域は峡北62.9%であり、以下、峡東56.4%、峡中54.5%、峡南48.7%、南都留47.3%、北都留39.8%の順である。
・ 同様に中学保護者についてみると、峡東72.3%、峡北70.8%、峡中65.8%、南都留65.7%、北都留58.5%、峡南56.4%の順である。
・ 同様に中学教員についてみると、峡北71.0%、北都留66.7%、峡中58.3%、南都留53.4%、峡東42.3%、峡南38.1%の順である。

学科別(資料編 p.11～12参照)

・ 「総合学科」に在籍する高1生徒とその保護者についてみると「すぐに設置した方がよい」「将来的には設置した方がよい」と回答した比率は、高1生徒41.3%、高1保護者78.1%、であった。

【総合学科の系列】

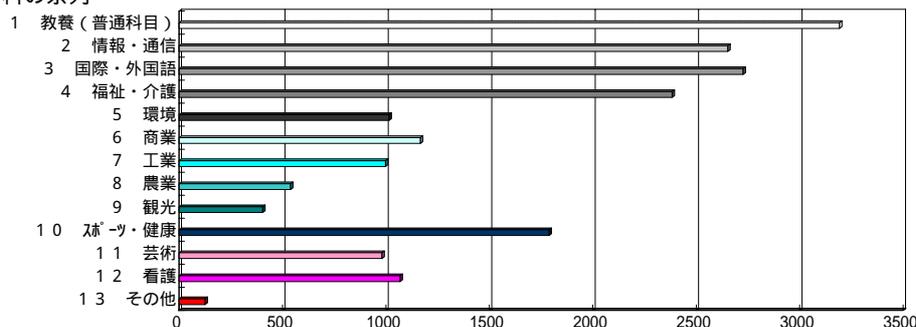
問7 総合学科高校では、いろいろな科目を用意して、その中から将来の進路などに合わせて科目を選択し、各自の時間割を作成して学習していきます。その時、どんな分野に属する科目があればよいと考えますか。(つぎの中から3つ選んで下さい。)

- | | | | |
|------------|------------|----------|---------|
| 1 教養(普通科目) | 2 情報・通信 | 3 国際・外国語 | 4 福祉・介護 |
| 5 環境 | 6 商業 | 7 工業 | 8 農業 |
| 9 観光 | 10 スポーツ・健康 | 11 芸術 | 12 看護 |
| 13 その他() | | | |

複数回答あり

選択肢	中2生徒	中3生徒	中2保護者	中3保護者	中学教員	高1生徒	高1保護者	高校教員	合計
1 教養(普通科目)	614	554	449	418	121	468	396	173	3,193
2 情報・通信	280	342	471	473	173	341	421	152	2,653
3 国際・外国語	391	408	482	474	97	393	389	93	2,727
4 福祉・介護	197	270	441	466	233	232	352	193	2,384
5 環境	179	162	146	167	64	94	126	77	1,015
6 商業	205	251	129	119	44	208	106	105	1,167
7 工業	165	171	115	96	55	174	114	108	998
8 農業	89	77	58	70	57	43	52	93	539
9 観光	80	70	37	49	26	58	46	38	404
10 スポーツ・健康	455	384	186	194	86	242	138	104	1,789
11 芸術	168	147	125	152	71	141	124	53	981
12 看護	157	168	145	172	65	142	150	70	1,069
13 その他	33	33	18	13	4	10	9	6	126
回答なし	14	11	15	19	1	4	17	9	90
回答者数	1,020	1,020	951	976	367	853	826	433	6,446

総合学科の系列



【今回の調査結果】

総合学科に設置を希望する科目群について尋ねた。

全体の傾向

- ・「教養(普通科目)」、「国際・外国語」、「情報・通信」、「福祉・介護」に属する科目があればよいと考えている人が特に多い。また「スポーツ・健康」について考えている人も多い。

調査対象者別(資料編 p.13~14参照)

- ・中学生についてみると、「教養(普通科目)」、「スポーツ・健康」、「国際・外国語」の順に多い。
- ・中学保護者についてみると、「国際・外国語」、「情報・通信」、「福祉・介護」の順に多い。
- ・中学教員についてみると、「福祉・介護」、「情報・通信」、「教養(普通科目)」の順に多い。
- ・高校教員についてみると、「福祉・介護」、「教養(普通科目)」、「情報・通信」の順に多い。

地域別(資料編 p.13~14参照)

- ・調査対象者別の傾向と同様で地域別の大きな差異は見られない。

【全日制単位制普通高校】

問8 県立高校のうち、1学年・2学年などの学年の区分がなく、自分に適した教科・科目を選択、学習し、決められた単位数を修得すれば卒業が認められる「全日制単位制普通高校」として、甲府西高校、日川高校、都留高校の3校があります。

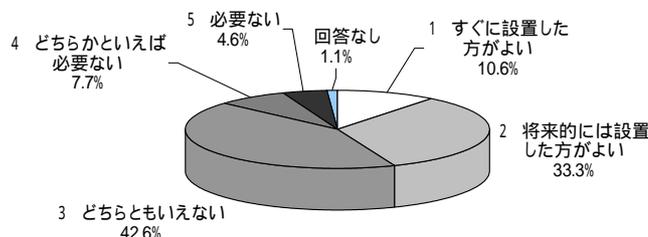
今後も全日制単位制普通高校を設置していくことについて、どう考えますか。

(つぎの中から1つ選んでください。)

- 1 すぐに設置した方がよい 2 将来的には設置した方がよい 3 どちらともいえない
4 どちらかといえば必要ない 5 必要ない

選 択 肢	中2生徒		中3生徒		中2保護者		中3保護者		中学教員		高1生徒		高1保護者		高校教員		合 計	
	人数	比率	人数	比率	人数	比率	人数	比率	人数	比率	人数	比率	人数	比率	人数	比率	人数	比率
1 すぐに設置した方がよい	157	15.4%	126	12.4%	120	12.6%	102	10.5%	13	3.5%	76	8.9%	72	8.7%	16	3.7%	682	10.6%
2 将来的には設置した方がよい	329	32.3%	363	35.6%	340	35.8%	352	36.1%	115	31.3%	277	32.5%	298	36.1%	75	17.3%	2,149	33.3%
3 どちらともいえない	433	42.5%	453	44.4%	378	39.7%	421	43.1%	152	41.4%	427	50.1%	350	42.4%	134	30.9%	2,748	42.6%
4 どちらかといえば必要ない	64	6.3%	33	3.2%	66	6.9%	56	5.7%	59	16.1%	39	4.6%	72	8.7%	110	25.4%	499	7.7%
5 必要ない	22	2.2%	34	3.3%	35	3.7%	26	2.7%	26	7.1%	31	3.6%	27	3.3%	97	22.4%	298	4.6%
回答なし	15	1.5%	11	1.1%	12	1.3%	19	1.9%	2	0.5%	3	0.4%	7	0.8%	1	0.2%	70	1.1%
計	1,020		1,020		951		976		367		853		826		433		6,446	

単位制普通高校の設置要望



【今回の調査結果】

全日制単位制普通高校の設置の必要性について尋ねた。

全体の傾向

・「すぐに設置した方がよい」「将来的には設置した方がよい」と回答した比率は43.9%であり、一方で「必要ない」「どちらかといえば必要ない」と回答した比率は12.3%である。また「どちらともいえない」と回答した比率は42.6%である。

調査対象者別

・「すぐに設置した方がよい」「将来的には設置した方がよい」と回答した比率は、中2生徒47.7%、中3生徒48.0%、中2保護者48.4%、中3保護者46.6%であり、他の調査対象者より高くなっている。

地域別(資料編 p.15 参照)

・中学生についてみると「すぐに設置した方がよい」「将来的には設置した方がよい」と回答した比率が最も高い地域は峡東55.3%であり、以下、南都留50.5%、峡中49.5%、峡北43.3%、北都留38.8%、峡南37.7%の順である。
・同様に中学保護者についてみると、峡北53.8%、南都留48.6%、峡東47.4%、峡中47.3%、峡南44.1%、北都留42.5%の順である。
・同様に中学教員についてみると、峡東40.8%、峡中35.3%、南都留34.5%、峡北32.3%、峡南28.6%、北都留26.6%の順である。

学科別(資料編 p.15 参照)

・「全日制単位制普通科」に在籍する高校生とその保護者についてみると、「すぐに設置した方がよい」「将来的には設置した方がよい」と回答した比率は高1生徒50.0%、高1保護者58.3%であった。

【専門教育学科】(学科の種類)

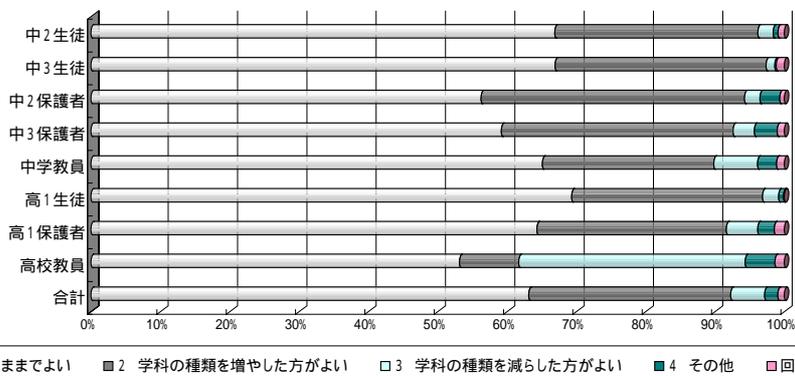
問9 本県の県立高校には、現在、専門教育学科として、理数科、英語科、文理科、国際教養科を設置しているところがあります。この学科についてどう考えますか。

(1) 学科の種類について (つぎの中から1つ選んでください。)

- 1 現状のままでよい
- 2 学科の種類を増やした方がよい
- 3 学科の種類を減らした方がよい
- 4 その他()

選 択 肢	中2生徒		中3生徒		中2保護者		中3保護者		中学教員		高1生徒		高1保護者		高校教員		合 計	
	人数	比率	人数	比率	人数	比率	人数	比率	人数	比率	人数	比率	人数	比率	人数	比率	人数	比率
1 現状のままでよい	677	66.4%	699	68.5%	566	59.5%	570	58.4%	257	70.0%	635	74.4%	548	66.3%	227	52.4%	4,179	64.8%
2 学科の種類を増やした方がよい	288	28.2%	279	27.4%	325	34.2%	330	33.8%	64	17.4%	191	22.4%	222	26.9%	32	7.4%	1,731	26.9%
3 学科の種類を減らした方がよい	27	2.6%	22	2.2%	22	2.3%	24	2.5%	33	9.0%	19	2.2%	25	3.0%	147	33.9%	319	4.9%
4 その他	14	1.4%	7	0.7%	28	2.9%	27	2.8%	11	3.0%	4	0.5%	21	2.5%	25	5.8%	137	2.1%
回答なし	14	1.4%	13	1.3%	10	1.1%	25	2.6%	2	0.5%	4	0.5%	10	1.2%	2	0.5%	80	1.2%
計	1,020		1,020		951		976		367		853		826		433		6,446	

学科の種類



【今回の調査結果】

専門教育学科の種類について尋ねた。

全体の傾向

- ・「現状のままでよい」と回答した比率が最も高く64.8%、次いで「学科の種類を増やした方がよい」26.9%である。

調査対象者別

- ・高校教員についてみると、「学科の種類を減らした方がよい」と回答した比率が33.9%と、他の調査対象者と比べて高い傾向にある。また中学保護者についてみると、「学科の種類を増やした方がよい」と回答した比率が、他の調査対象者と比べてやや高い。

地域別(資料編 p.17参照)

- ・峡北、峡南及び峡中の中学校教員について、「学科の種類を増やした方がよい」と回答した比率が、他地域に比べてやや高い。

学科別(資料編 p.17参照)

- ・高校生についてみると、学科の種類を増やした方がよいという回答は、全日制では専門教育学科37.5%、普通科25.6%、定時制44.4%の生徒に比較的多かった。

【専門教育学科】(学科数)

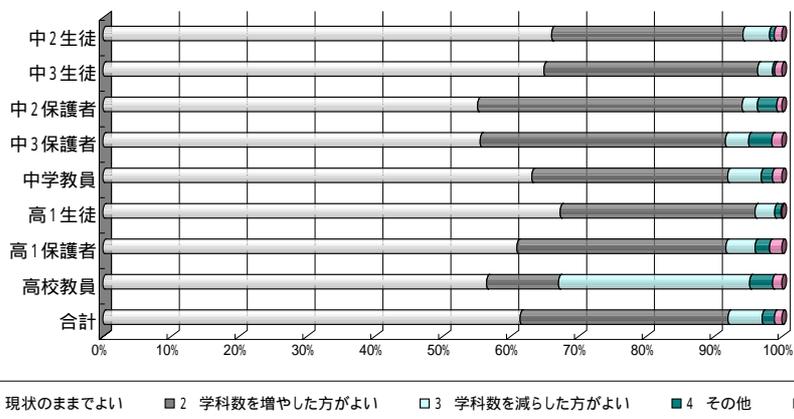
問9 本県の県立高校には、現在、専門教育学科として、理数科、英語科、文理科、国際教養科を設置しているところがあります。この学科についてどう考えますか。

(2) 学科数について (つぎの中から1つ選んでください。)

- 1 現状のままでよい
- 2 学科数を増やした方がよい
- 3 学科数を減らした方がよい
- 4 その他()

選 択 肢	中2生徒		中3生徒		中2保護者		中3保護者		中学教員		高1生徒		高1保護者		高校教員		合 計	
	人数	比率	人数	比率	人数	比率	人数	比率	人数	比率	人数	比率	人数	比率	人数	比率	人数	比率
1 現状のままでよい	638	62.5%	677	66.4%	514	54.0%	560	57.4%	243	66.2%	600	70.3%	528	63.9%	230	53.1%	3,990	61.9%
2 学科数を増やした方がよい	304	29.8%	300	29.4%	367	38.6%	330	33.8%	83	22.6%	219	25.7%	234	28.3%	27	6.2%	1,864	28.9%
3 学科数を減らした方がよい	47	4.6%	26	2.5%	23	2.4%	31	3.2%	29	7.9%	26	3.0%	31	3.8%	157	36.3%	370	5.7%
4 その他	12	1.2%	3	0.3%	34	3.6%	25	2.6%	8	2.2%	4	0.5%	15	1.8%	17	3.9%	118	1.8%
回答なし	19	1.9%	14	1.4%	13	1.4%	30	3.1%	4	1.1%	4	0.5%	18	2.2%	2	0.5%	104	1.6%
計	1,020		1,020		951		976		367		853		826		433		6,446	

学 科 数



【今回の調査結果】

専門教育学科の学科数について尋ねた。

全体の傾向

- ・ 「現状のままでよい」と回答した比率が最も高く61.9%、次いで「学科数を増やした方がよい」28.9%である。

調査対象者別

- ・ 高校教員についてみると、「学科数を減らした方がよい」と回答した比率が36.3%と、他の調査対象者と比べて高い。

地域別(資料編 p.19参照)

- ・ 中学生、中学保護者でみると、峡北が「学科数を増やした方がよい」と回答した比率が、他地域に比べやや高い。

学科別(資料編 p.19～20参照)

【専門高校】

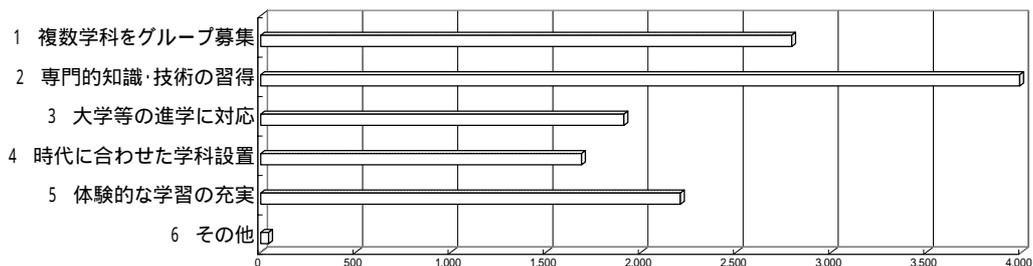
問10 農業高校、工業高校、商業高校などの専門高校の教育に、どのようなことを期待しますか。
(つぎの中から2つ選んでください。)

- 1 1年入学の段階で学科に分けず、共通に基礎的科目を勉強した後に、学科を選べるようにする
- 2 資格取得に必要な学習を行うなど、専門的な知識や技術を身につけた職業人を育成する
- 3 高校で学んだ知識や技術をさらに深めるため、大学等の進学に対応できる国語・数学や英語の教育を充実する
- 4 社会の変化に合わせ、設置学科を時代に合ったものに変える
- 5 実験や実習、企業での研修など、体験的な学習を充実する
- 6 その他()

複数回答あり

選 択 肢	中2生徒	中3生徒	中2保護者	中3保護者	中学教員	高1生徒	高1保護者	高校教員	合 計
1 複数学科をグループ募集	439	454	435	433	178	345	358	149	2,791
2 専門的知識・技術の習得	568	634	569	570	252	579	500	318	3,990
3 大学等の進学に対応	319	289	299	339	77	243	268	75	1,909
4 時代に合わせた学科設置	225	238	265	288	91	220	252	107	1,686
5 体験的な学習の充実	430	385	283	252	131	291	225	209	2,206
6 その他	13	10	4	2	1	4	2	5	41
回答なし	21	13	21	33	2	12	22	1	125
回答者数	1,020	1,020	951	976	367	853	826	433	6,446

専門高校への期待



【今回の調査結果】

農業高校、工業高校、商業高校などの専門高校に何を期待しているかを尋ねた。

全体の傾向

- ・「専門的知識・技術の習得」と回答した数が最も高く、以下「複数学科をグループ募集」、「体験的な学習の充実」、「大学等の進学に対応」、「時代に合わせた学科設置」の順である。
- ・中学教員、高校教員についてみると、「専門的知識・技術の習得」と回答した数が、他の調査対象者と比べて多くなっている。また、「体験的な学習の充実」については高校教員で多くなっている。

調査対象者別

- ・ 中学教員、高校教員についてみると、「専門的知識・技術の習得」と回答した数が、他の調査対象者と比べて多くなっている。また、「体験的な学習の充実」については高校教員で多くなっている。

地域別(資料編 p.21参照)

- ・ 調査対象者別の傾向と同様で、地域別の大きな差異は見られない。

学科別(資料編 p.21～22参照)

- ・ 調査対象者別の傾向と同様で、学科別の大きな差異は見られない。

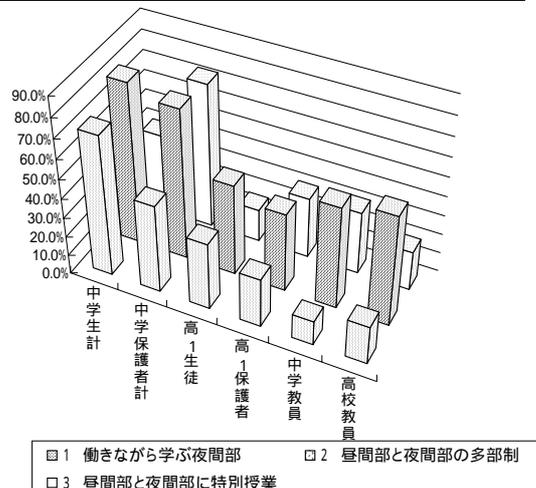
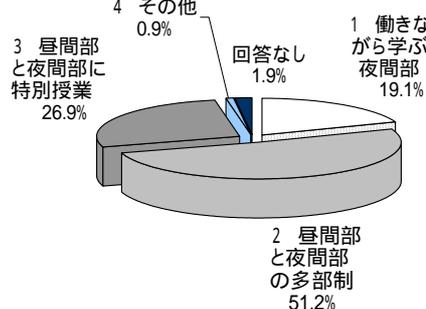
【定時制高校】

問11 中学卒業で就職する生徒が減少し、現在の定時制高校は、「働きながら学ぶ人のための学校」という役割だけでなく、さまざまな学習歴を持つ生徒の学習の場としての役割も持つようになってきています。あなたは、定時制高校の今後についてどう考えますか。
(つぎの中から1つを選んでください。)

- 1 現状どおり、働きながら学ぶ人のため、夜間部を主に考える方がよい
- 2 多様な生徒が学習できるよう昼間部と夜間部をあわせ持つ多部制がよい
- 3 多様な生徒が学習できるよう昼間部と夜間部にさらに特別授業をあわせ持つ多部制がよい
- 4 その他()

選 択 肢	中2生徒		中3生徒		中2保護者		中3保護者		中学教員		高1生徒		高1保護者		高校教員		合 計	
	人数	比率	人数	比率	人数	比率	人数	比率	人数	比率	人数	比率	人数	比率	人数	比率	人数	比率
1 働きながら学ぶ夜間部	228	22.4%	256	25.1%	148	15.6%	150	15.4%	23	6.3%	230	27.0%	123	14.9%	73	16.9%	1,231	19.1%
2 昼間部と夜間部の多部制	503	49.3%	541	53.0%	457	48.1%	452	46.3%	231	62.9%	453	53.1%	404	48.9%	258	59.6%	3,299	51.2%
3 昼間部と夜間部に特別授業	257	25.2%	202	19.8%	325	34.2%	328	33.6%	108	29.4%	148	17.4%	269	32.6%	94	21.7%	1,731	26.9%
4 その他	13	1.3%	8	0.8%	6	0.6%	15	1.5%	2	0.5%	6	0.7%	4	0.5%	7	1.6%	61	0.9%
回答なし	19	1.9%	13	1.3%	15	1.6%	31	3.2%	3	0.8%	16	1.9%	26	3.1%	1	0.2%	124	1.9%
計	1,020		1,020		951		976		367		853		826		433		6,446	

定時制高校



【今回の調査結果】

定時制の今後について尋ねた。

全体の傾向

・「昼間部と夜間部の多部制」と回答した比率が最も高く51.2%であり、次いで、「昼間部と夜間部に特別授業」26.9%、「働きながら学ぶ夜間部」19.1%の順である。

調査対象者別

・保護者についてみると、「昼間部と夜間部に特別授業」と回答した比率が、中2保護者34.2%、中3保護者33.6%、高1保護者32.6%と、他の調査対象者に比べて高くなっている。
・教員についてみると、「昼間部と夜間部の多部制」と回答した比率が、中学校教員62.9%、高校教員59.6%と、他の調査対象者に比べ高くなっている。

地域別(資料編 p.23参照)

・中学生についてみると峡南、北都留、峡中が他地域に比べ「働きながら学ぶ夜間部」と回答した比率が多かった。

学科別(資料編 p.23～24参照)

・「定時制」の高校生と保護者についてみると、「昼間部と夜間部の多部制」と回答した比率が他の学科に比べ高く、高校生61.1%、保護者70.0%である。

【中高一貫教育校】

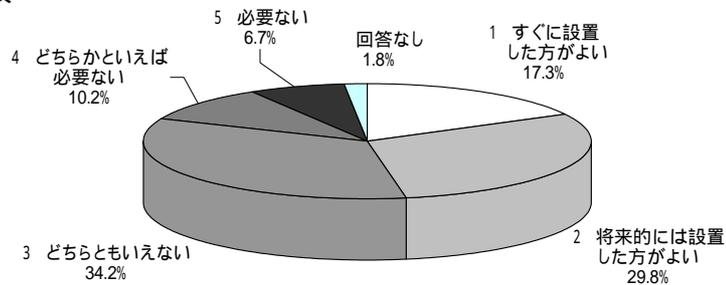
問12 中学から高校までの6年間のいわゆる中高一貫教育は「入学に際しては学力検査は行わずゆとりある教育の中で個性や創造性を伸ばす」などを目的としていますが、このような中高一貫教育校を設置することについて、どう考えますか。

(つぎの中から1つ選んでください。)

- 1 すぐに設置した方がよい 2 将来的には設置した方がよい 3 どちらともいえない
4 どちらかといえば必要ない 5 必要ない

選 択 肢	中2生徒		中3生徒		中2保護者		中3保護者		中学教員		高1生徒		高1保護者		高校教員		合 計	
	人数	比率	人数	比率	人数	比率	人数	比率	人数	比率	人数	比率	人数	比率	人数	比率	人数	比率
1 すぐに設置した方がよい	316	31.0%	235	23.0%	157	16.5%	150	15.4%	23	6.3%	105	12.3%	90	10.9%	40	9.2%	1,116	17.3%
2 将来的には設置した方がよい	272	26.7%	293	28.7%	315	33.1%	351	36.0%	109	29.7%	212	24.9%	257	31.1%	114	26.3%	1,923	29.8%
3 どちらともいえない	316	31.0%	378	37.1%	325	34.2%	330	33.8%	119	32.4%	338	39.6%	292	35.4%	104	24.0%	2,202	34.2%
4 どちらかといえば必要ない	59	5.8%	58	5.7%	86	9.0%	85	8.7%	76	20.7%	103	12.1%	100	12.1%	88	20.3%	655	10.2%
5 必要ない	39	3.8%	42	4.1%	52	5.5%	33	3.4%	39	10.6%	81	9.5%	63	7.6%	86	19.9%	435	6.7%
回答なし	18	1.8%	14	1.4%	16	1.7%	27	2.8%	1	0.3%	14	1.6%	24	2.9%	1	0.2%	115	1.8%
計	1,020		1,020		951		976		367		853		826		433		6,446	

中高一貫教育校



【今回の調査結果】

中高一貫教育校の設置の必要性について尋ねた。

全体の傾向

- ・ 「すぐに設置した方がよい」「将来的には設置した方がよい」と回答した比率は47.1%、「必要ない」「どちらかといえば必要ない」16.9%、「どちらともいえない」34.2%である。

調査対象者別(資料編 p. 25～26 参照)

- ・ 中学生についてみると、「すぐに設置した方がよい」「将来的には設置した方がよい」と回答した比率は54.7%と、過半数を占めており、同様に中学保護者についても高く50.5%である。
- ・ 高校教員についてみると、「必要ない」「どちらかといえば必要ない」と回答した比率が調査対象者の中で最も高く、40.2%である。

地域別(資料編 p.25 参照)

- ・ 中学生についてみると、「すぐに設置した方がよい」「将来的には設置した方がよい」と回答した比率が最も高い地域は北都留56.0%であり、以下、峡東55.6%、峡中55.0%、南都留54.5%、峡北52.9%、峡南52.9%の順である。
- ・ 中学保護者についてみると、峡中55.1%、南都留51.8%、峡東49.2%、峡南48.0%、峡北46.2%、北都留40.5%の順である。
- ・ 中学教員についてみると、峡北42.0%、南都留41.4%、峡中36.6%、峡東33.8%、北都留30.0%、峡南23.8%の順である。

学科別(資料編 p.25～26 参照)